

受験番号

氏名

## 実技試験（鉛筆図面作成）

9月21日(土)

9:00—15:00

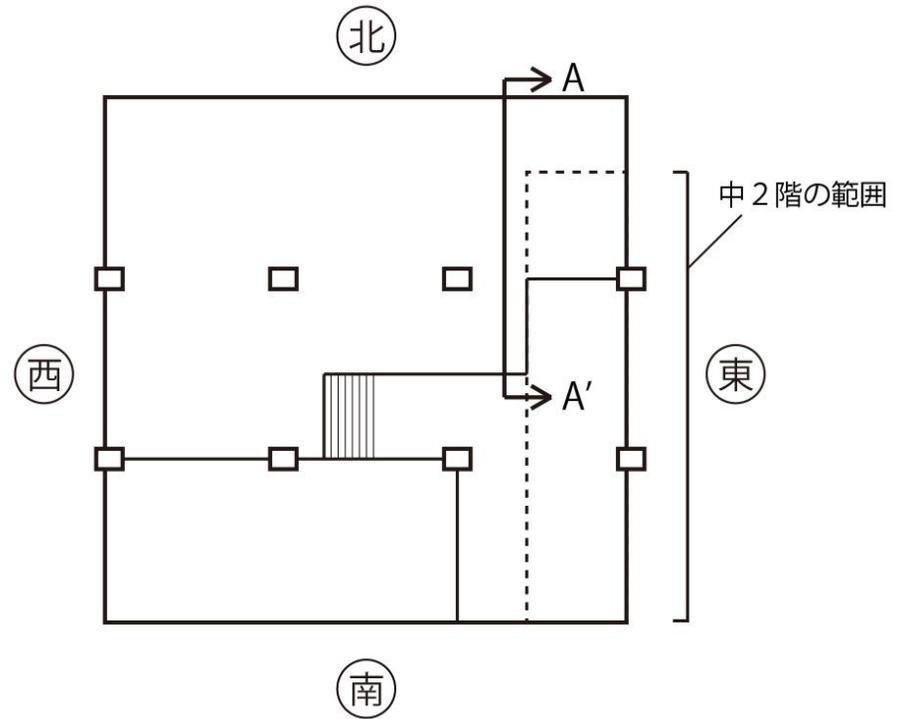
### 問題 1

**課題** ① A3方眼用紙に、大石膏室の東側立断面図を描く。

#### 1. 配布物

- ・ 課題用紙（本紙）
- ・ 提出用A3方眼用紙×1枚
- ・ 下書き用A3方眼用紙×1枚
- ・ 画板

※なお、配布物は終了後すべて回収します。



#### 2. 図面作成の対象

試験会場である、大石膏室内の一部。建築物本体のほかにも、建具、手摺、照明器具を含む。縮尺1/100程度の図面を製図する場合を想定した時に省略すると考えられるものや、展示されている石膏像及び台座は含まない。

（試験会場：天野太郎設計 元芸大建築学科教授 1970年竣工）

#### 3. 図面作成の内容

##### ① 東側立断面図

東側立断面図の野帳をフリーハンドで作成する。A-A'位置（上図参照）の断面を描き、東壁面の立面を描き加える。また、実測に必要な寸法線を記入する。寸法の数値は不要。

#### 4. その他 注意事項

- ・ 寸法線も含めてフリーハンドで描くこと。定規の使用は不可とする。
- ・ 図面作成の対象と内容については各自が判断することとし、質問は受け付けない。
- ・ 立断面図作成のために、A-A' およびB-B' ライン付近に立ち入ってよいが、中2階への立入は禁止する。
- ・ 静粛を旨とする。静粛の維持について試験監督者の指示に従わない場合、作業の中止、さらには受験を中止させる場合がある。
- ・ 試験時間中は携帯電話の電源を切り、身につけないこと。
- ・ 立入禁止の掲示や指示がある場合は、これに従う。物品に触れて破損することのないよう、十分に気をつける。
- ・ 課題用紙、提出用A3方眼用紙、下書き用A3方眼用紙、すべてに受験者の受験番号と氏名を所定の位置に記入し、試験会場から持ち帰らないこと。
- ・ 発熱や頭痛など、体調が不良になった時には、すみやかに監督官に申し出て、指示を仰ぐこと。また、トイレを希望する場合も監督官に申し出ること。

受験番号

氏名

実技試験（鉛筆図面作成）

9月21日(土)

9:00—15:00

## 問題2

### 課題

① 別紙で与えた部材の摺本（複写）を、方眼線に合わせて縮小し、解答用紙に描きなさい。

### 1. 配布物

- ・ 課題用紙（本紙）
- ・ 部材の摺本（複写、別紙）
- ・ 提出用A3方眼用紙×1枚
- ・ 下書き用A3方眼用紙×1枚
- ・ 画板×1枚

※なお、配布物は終了後すべて回収します。

### 2. 図面作成の対象

各人に与えた別紙は、部材の摺本（複写）であり、方眼線が引かれている。摺本なので、木目が現れているが、木目などは気にすることなく、全体の輪郭や渦文を、提出用の解答用紙の方眼線に合わせて縮小して忠実に描く。

### 3. 図面作成の内容

別紙で配布した部材の摺本（複写）の輪郭や渦文を、提出用の解答用紙の方眼線に合わせて縮小し、A3方眼用紙1枚に、フリーハンドで作成する。

### 4. その他 注意事項

- ・ フリーハンドで描くこと。定規の使用は不可とする。
- ・ 図面作成の対象と内容については各自が判断することとし、質問は受け付けない。
- ・ 静粛を旨とする。静粛の維持について試験監督者の指示に従わない場合、作業の中止、さらには受験を中止させる場合がある。
- ・ 試験時間中は携帯電話の電源を切り、身につけないこと。
- ・ 立入禁止の掲示や指示がある場合は、これに従う。物品に触れて破損することのないよう、十分に気をつける。
- ・ 課題用紙、提出用A3方眼用紙、下書き用A3方眼用紙、すべてに受験者の受験番号と氏名を所定の位置に記入し、試験会場から持ち帰らないこと。
- ・ 発熱や頭痛など、体調が不良になった時には、すみやかに監督官に申し出て、指示を仰ぐこと。また、トイレを希望する場合も監督官に申し出ること。

筆答試験 専門 問題及び解答用紙

[Empty box for exam number]

[Empty box for name]

問題Ⅰ 別紙1に写真で示した①から⑧の各建造物について、建造物の名称、建設年代、主な建築的特徴を下の枠内に記しなさい。
なお、建設年代は「〇世紀」のような大まかな時期の表記でもよい。

Table with 4 columns: 番号, 建造物の名称, 建設年代, 主な建築的特徴. Rows 1-8.

問題Ⅱ 日本の世界文化遺産20件から1件、重要伝統的建造物群保存地区129地区(集落・町並み保存地区)から保存地区1件をそれぞれ選び、その名称を記して各2行以内で説明しなさい。

- (1) 世界遺産 名称: 説明:
(2) 保存地区 名称: 説明:

問題Ⅲ 別紙2には、鶴林寺本堂[国宝 兵庫県 応永4年(1397)]の桁行断面図と梁間断面図を掲げてあります。図中に矢印で示した①から⑯の建築部材の名称を以下に記しなさい。

- ①: ②: ③: ④: ⑤: ⑥: ⑦: ⑧:
⑨: ⑩: ⑪: ⑫: ⑬: ⑭: ⑮: ⑯:

問題Ⅳ 以下の(1)~(6)から2語を選んでその番号を( )に記し、それぞれ3行以内で説明しなさい。

- (1) 大仏様 (2) 権現造 (3) 式年造替 (4) 座敷飾 (5) 檜皮葺 (6) 舞良戸

- 番号( ) 説明:
番号( ) 説明:

問題Ⅴ 別紙3の英文は、1965年にイコモスで採択された「記念建造物および遺跡の保存と修復のための国際憲章(ヴェニス憲章)」の一部です。日本語で大意を記しなさい。なお、英語辞書等の使用は認めません。

[Dotted lines for answer]

2025年度 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻  
保存修復(建造物) 入学試験 小論文

問題：歴史的建造物を継承する社会的な意義と、社会情勢に応じた歴史的建造物の持続的なあり方について、具体例をあげながら1200字程度で述べなさい。

受験番号

氏 名

筆答試験 別紙 1

問題 I 写真 ①～⑧

①



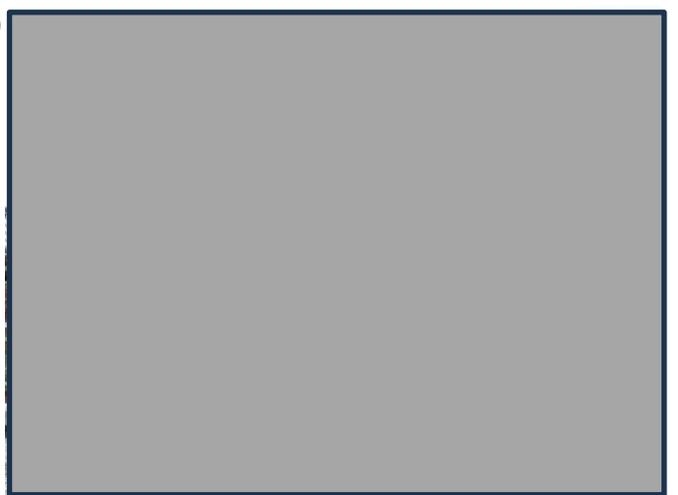
②



③



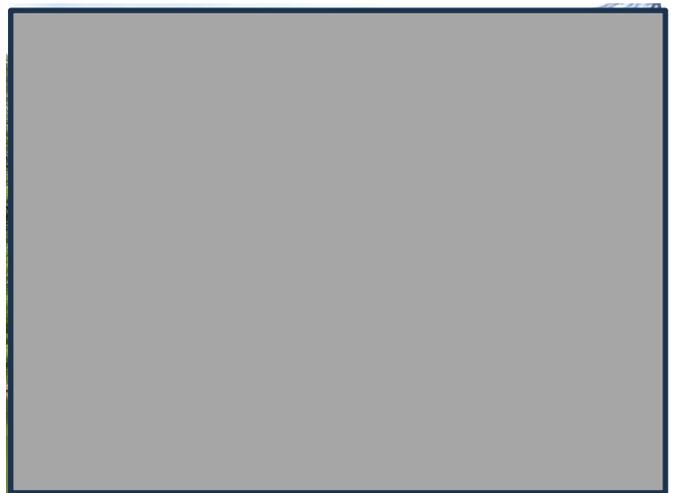
④



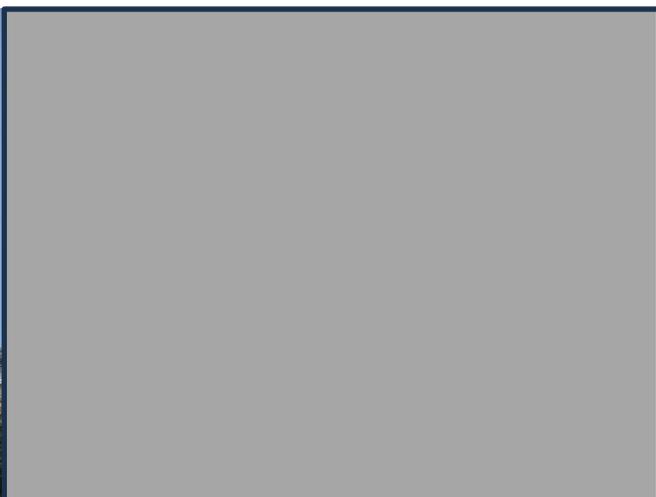
⑤



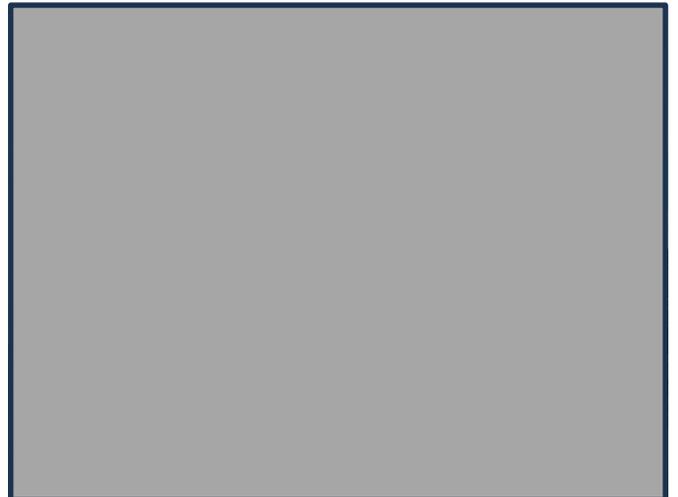
⑥



⑦



⑧



受験番号

氏 名

筆答試験 別紙2

問題III 図面

